

高齢者にやさしくし隊

～ご協力いただける個人・店舗等を募集します～

「高齢者にやさしくし隊」とは

地域で高齢者や認知症の方をさりげなく見守り、助け合うための取り組みです。

いくつになっても住み慣れた地域で安心して暮らすことができると素敵ですよ。

そのためにはご自身では何ができるでしょうか？
地域では何ができるでしょうか？

まずは、できることから始めてみませんか？

『高齢者にやさしくし隊』に協力いただける
店舗・企業・団体・個人等を募集します。



〈ステッカー〉

Q1 「高齢者にやさしくし隊」は誰が登録できますか？

A1 店舗、企業、団体、個人を問わずどなたでも登録できます。

Q2 どのような役割がありますか？

A2 特別なことをお願いする訳ではありません。「あの人困っているな」と思われたらやさしい対応をお願いするなど、地域で助け合う取り組みです。

Q3 「高齢者にやさしくし隊」に登録していることが、地域みなさんにわかるような目印はありますか？

A3 目印としてステッカーをお渡しします。地域みなさんの見えるところに貼っていただきます。

Q4 「高齢者にやさしくし隊」はどこに登録をすればよいですか？

A4 「高齢者にやさしくし隊」について詳しくは市役所高齢福祉課へお問い合わせください。

『高齢者にやさしくし隊』に協力いただける店舗・企業・団体については、市ホームページなどへの掲載や、地域包括支援センターなどの相談機関に情報提供させていただく予定をしています。

「高齢者にやさしくし隊」として

特別な対応をお願いするものではありません。高齢者の方がお店に来られて困っているときなど、つぎのような接し方をしてもらえると助かります。



認知症による生活上の困難と私たちにできること（具体例）



- お店の中や近所の同じ所を何度もウロウロしている。
→ 「何かお手伝いできることはありませんか？」「今日はどうされましたか？」と声をかける。
- 計算間違いや高額紙幣のみで支払いをしている
→ 急がせず、認知症の人のペースで対応。
→ 例えば代金が530円の支払いの場合、「500円玉1枚と10円玉3枚お預かりします」と声をかける。
- 無断で商品を持ち帰ろうとする
→ 代金の支払いや支払い場所がわからないのかもしれませんが。声をかけて支払いに気づいてもらう。
→ 必要であれば家族に連絡し、後で支払ってもらう。
- 配達先に一人暮らしの方がいる
→ 声かけなどの見守り。

「高齢者にやさしくし隊」のみなさまへ

この機会に認知症について正しく理解し、本人や家族の応援者となる「認知症サポーター」になってみませんか。

市は認知症サポーター養成講座を開催しています。
詳しくは市役所高齢福祉課までお問い合わせください。



申し込み・お問い合わせ先

大垣市役所 高齢福祉課 包括支援グループ
〒503-8601 大垣市丸の内2-29
TEL 0584-47-7416